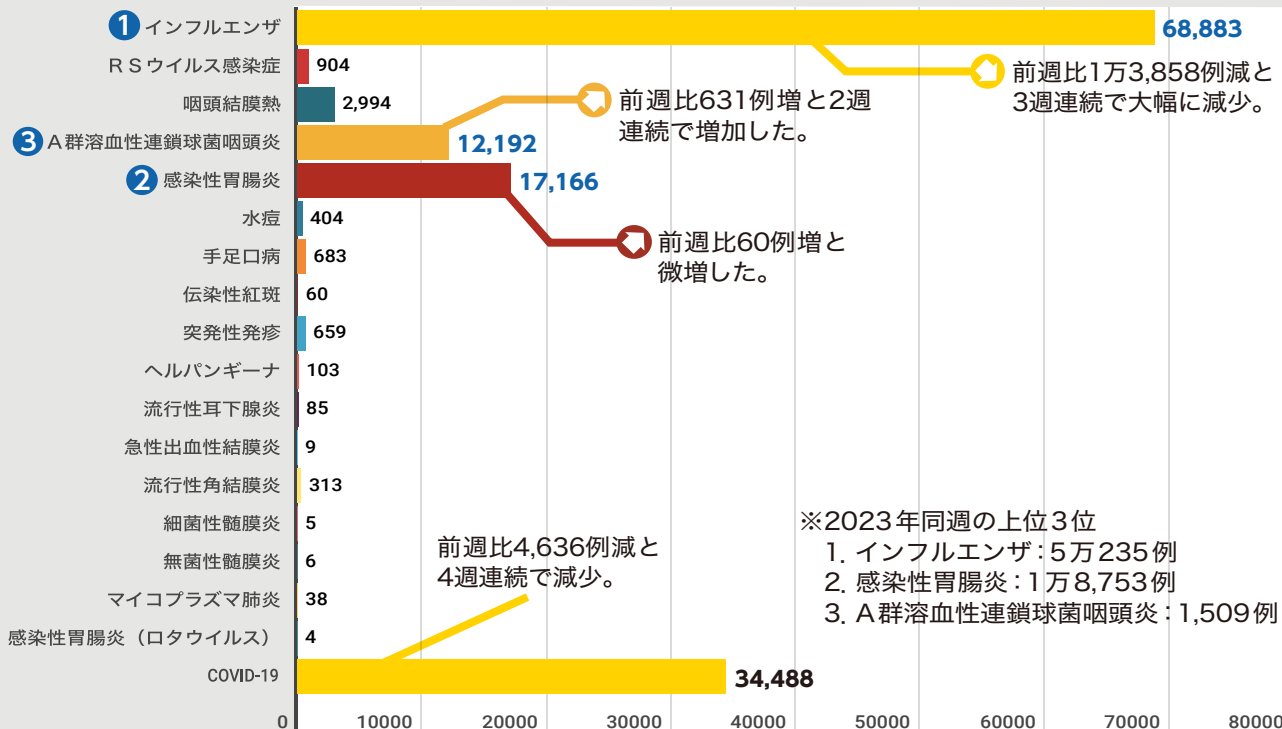


国立感染症研究所が発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

# コロナ減少も、寒冷地域では警戒が必要

丸数字は上位3位



(国立感染症研究所のデータを基に編集部作成)

## ①インフルエンザ

報告数

- 北海道: 6,127例
- 神奈川県: 5,962例
- 東京都: 5,214例

定点当たりの報告数(13.96)

- |               |               |               |                 |
|---------------|---------------|---------------|-----------------|
| 1. 北海道: 27.35 | 4. 長崎県: 18.83 | 7. 埼玉県: 17.62 | 10. 宮城県: 16.89  |
| 2. 石川県: 24.85 | 5. 新潟県: 18.27 | 7. 大分県: 17.62 | 11. 熊本県: 16.83  |
| 3. 山形県: 20.49 | 6. 群馬県: 17.69 | 9. 沖縄県: 17.22 | 12. 神奈川県: 16.33 |

## ②感染性胃腸炎

報告数

- 東京都: 1,468例
- 大阪府: 1,173例
- 埼玉県: 1,005例

定点当たりの報告数(5.48)

- |               |               |              |                |
|---------------|---------------|--------------|----------------|
| 1. 富山県: 13.28 | 4. 石川県: 10.59 | 7. 香川県: 8.18 | 10. 鳥取県: 7.58  |
| 2. 愛媛県: 11.05 | 5. 福井県: 8.36  | 8. 岩手県: 8.08 | 11. 兵庫県: 7.55  |
| 3. 大分県: 10.81 | 6. 宮崎県: 8.28  | 9. 広島県: 8.03 | 12. 鹿児島県: 7.25 |

## ③A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

報告数

- 北海道: 1,200例
- 東京都: 841例
- 福岡県: 808例

定点当たりの報告数(3.89)

- |               |              |              |               |
|---------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 山形県: 11.54 | 4. 福岡県: 6.73 | 7. 富山県: 6.34 | 9. 福井県: 5.12  |
| 2. 北海道: 8.70  | 5. 山口県: 6.42 | 8. 愛媛県: 5.57 | 11. 茨城県: 4.84 |
| 3. 鳥取県: 6.89  | 6. 新潟県: 6.35 | 9. 高知県: 5.12 | 12. 三重県: 4.82 |

## 今週の感染症動向

インフルエンザは前週比1万3,858例減と、3週連続で減少した。定点当たり報告数が警報レベル(30.00)を超える地域はなくなったものの、注意報レベル(10.00)を上回る地域は37都道府県といまだに全国的な流行状態にある。

感染性胃腸炎は前週比60例増と微増。A群溶血性連鎖球菌咽頭炎も前週比631例増と2週連続で増加し、定点当たり報告数は山形県(11.54)、北海道(8.70)で警報基準値(8.00)を超えており注意が必要だ。

COVID-19は、前週比4,636例減と4週連続で減少したが、定点当たり報告数(6.99)は宮城県(13.16)、新潟県(12.93)、山形県(12.33)と寒冷地域で多い傾向にあり、これらの地域ではインフルエンザも流行しているため要注意。

咽頭結膜熱は昨年の約6倍(486例 vs. 2,994例)、手足口病は3倍(206例 vs. 683例)、水痘は2倍(203例 vs. 404例)に上っており、感染症全般への警戒が必要だ。